

## 日本と韓国との 異文化交流を進めてきた

イーストウエスト日本語学校副校長  
嶋田和子さん

インタビューアー  
勝又美智雄・国際教養大学教授

### 韓国人留学生に日本語を教える

——この春、日本と韓国との異文化交流を勧める『キムチと味噌汁』という本を出版しましたね。韓国と日本は言葉も文化も似ているように似ているけれど、似た表現でもずいぶん内容が違う、というところをわかりやすく解説していて、面白く読みました。きっかけは何でしたか。

韓国人の留学生に日本語を教えるもう二〇年になります。その体験から留学生教育はどうあるべきか、国際交流で何を気をつけなければいけないか、など日頃考えていることをずっと書きためていたのですが、その中から日韓交流に絞って書かないか、という話を出版社からいただいたのがきっかけです。

——とりわけ興味深いのは、韓国人が日本語を勉強する場合に間違えやすい点、誤解しやすい問題を豊富な事例、エピソードで示していることです。

毎年、三〇〇人ほど韓国人学生が入学してきますから、通算すればもう何千人もの韓国人との出会いがあったわけですね。彼らが日本語の、日本人のどこにどう疑問を感じるか、かなりわかってきたし、予測もつきますから。

——逆に日本人が韓国人の言動から誤解しやすい点もたくさん指摘している。そこで強調しているのは、留学生たちを「未来からの大使」として敬意を払って接しよう、韓国を「近くて遠い国」から「近くてもっとも親しい国」にしよう、というメッセージですね。

人にとって韓国語は、中国語やヨーロッパの言語を学ぶよりもはるかに少ない時間で早く覚えられます。相手の言葉を理解することで、相手も私を信用し、信頼していろいろと相談してくる。それで私も韓国の歴史事情、文化をより深く知ることができるようになりました。

——どういう形で韓国語を勉強し始めたのですか。

もう二〇年も前のことですが、初めての韓国人学生を教室に迎えた時、学生たちの姓名を日本語読みしてはならない、と直感しました。名簿で「陸泰星」とあるので「リクタイセイさん」と呼んだら、「私の名前はユクテソンです」と言われて、ハッとしました。誰だっけ自分の名前を間違えて読まれるのは不愉快なもの



嶋田和子さん

です。それで反省して、急いで全員正しい読み方を覚えさせました。カタカナで書けば同じ「チョン」姓でも「全、田、千、天、鄭、丁」とあって、韓国語の表記も発音も異なる。その発音を正しく覚えることで、自然にハンガルの世界に入っていくことができました。

——韓国人学生に習ったり、韓国語教室に通ったりはしなかったのですか。

韓国人学生は日本語を勉強しに来ているのです。その貴重な時間を私の韓国語レッスンに使わせるわけにはいきません。教師として、そうしたケジメが必要なんです。かと言って、韓国人教師に付いて勉強する時間的な余裕もない。そこで朝ラジオの韓国語講座をテープにとって、毎日の通勤電車の中で前日の文を暗記し、夜、帰宅してから朝とったテープを聴きました。その意味では完全な独学でスタートしました。

——それが日本語指導にも生きてきますね。

韓国人学生の発想や発音の仕方の特徴がわかりますから、日本語学習でどこで間違えやすいか、つまづくかも十分予測できます。そこをしっかりと押さえて注意して、あとは会話に力を入れて授業を進めていけば、彼らの習熟スピードも速くなります。それと同時に、生活指導が

日本人はホームステイなどでも欧米からの留学生は歓迎するのに、韓国や中国などアジアから来る留学生を敬遠する傾向があります。それも相手のことをよく知らないまま蔑視しがちです。それではいけない、とふだんから感じていました。

### 「留日反日」を「留日親日」に

——人は誰でも蔑視されたり、無視されたら怒りますよ。

中国人留学生の間では「留日反日・留米親米」という言葉が語り継がれています。日本に留学すると日本が嫌いになって帰国する、アメリカに留学するとアメリカが好きになる、という意味です。私はそれがとても危険なことだと心配しています。中国人でも韓国人でも、日本にあこがれて留学してきたのに、いろんな場面で不愉快な思いをし、日本が嫌いになっては、日本にとって大きなマイナスです。そうならないよう、私たち日本人が韓国、中国のことをもっとよく知って、相手の心を深く理解すべきです。

——そのために嶋田さん自身が韓国語を相当勉強して、かなり自由に話せるようになったのですか。

外国人のことを理解しようと思ったから、まずその人の母語になっている言葉を理解することが出発点でしょう。日本

韓国語でできるのも役に立っています。学生たちは自分の母語が通じると、安心して心を開いて話してくれる、それで結果として、私の韓国語理解能力も高まってきたと思います。一番大事なのは相手の文化を理解し、尊重し、何よりも相手をひとりの人間として尊重するという

### ▼▼ゲスト

#### 嶋田和子さん略歴▼▼

一九四六年、東京生まれ。津田塾大学英文科卒。放送大学大学院文化科学研究科修了。ファースト・ナショナル・シティ銀行(現シティ・バンク)勤務を経て日本語教師となり、九〇年から学校法人国際青年交流学園イーストウエスト日本語学校で教え、二〇〇三年から同校副校長。現在は教師の指導、学生の日本語指導、進学指導に当たる。社団法人日本語教育学会常任理事。著書に『日本語の達人への道』(韓国語版、韓国サラミン出版)、『世界がステーション!』(共著、岩波ジュニア新書)、『アカデミック・ジャパニーズの挑戦』(共著、ひつじ書房)、『キムチと味噌汁』(教育評論社)など。

姿勢を保つことだと思っています。

### テープ録音で指導法を反省

——日本語の教材を韓国語でも出版して  
いますね。どんな事情からですか。

たまたま一九九九年に国際電話会社が  
新宿で韓国人留学生を四〇〇人くらい集  
めて「日本留学情報説明会」をやりまし  
た。その時私が頼まれて発音指導をした  
のです。OHPを使いながら韓国語で説  
明したのですが、それを同席していた韓  
国の出版社の人が「ぜひ韓国で出版した  
い」と言ってくれ、ソウルまでテープの  
吹き込みにも出かけ、翌年二月には出版  
にこぎ着けました。

——そんなイベントをするのは、携帯電  
話の販売促進や韓国との国際電話のかけ  
方の指導というねらいのようですね。

たぶん、そうでしょうね。私はあまり  
気にしないで、自分の指導法を知っても  
らえることを単純に喜んでいました。

——自分の教え方に自信を持てるようにな  
ったのはいつごろですか。

この方向性で行こう、と自信らしきも  
のが出てきたのは一〇年くらい前でしょ  
うか。そういえば、日本語教育振興協会  
が一九九七年に初めて日本語学校教師た  
ちの授業実践の発表会を開催しました。  
それに参加して、自分の指導法を紹介し

たのですが、それが一つの飛躍のきっか  
けになりました。やはり、何にでもチャ  
レンジしていくことが大切だと思います。

——理論的な裏付けはどうですか。

その点で、一〇年ほど前にOPIとい  
う口頭能力インタビュー試験に出会い、  
コミュニケーション重視で効果を上げる  
方法を学びました。それは、「目からう  
ろこ」の体験でした。そこでかなりはっ  
きりした方向性が見えてきたように思い  
ます。

——もう少し具体的に言うとう。

OPIは三〇分のインタビュー試験で  
すが、判定を明確にするために、あとで  
何回か聴き直します。すると、自分の質  
問の仕方が適切だったか、被験者の反応  
をうまく引き出しているか、などいろん  
な角度から反省材料がすぐたくさん出  
てきます。それは授業での学習者との関  
係でも同様です。教師は「舞台上が上が  
った賢人」として振舞うのではなく、むし  
ろ学習者と一緒に考え、生徒の意欲、発  
想を刺激して、学習者が受け身でなく、  
能動的に授業に関わるように仕向ける、  
つまり「側に付き添う案内人」であるの  
が最もいい指導法ではないか、というこ  
とがわかってきたのです。

——それは日本語教育に限らず、教師と  
してのあり方を示す重要な点ですね。私

いるのです。

### 家族の理解で専業主婦から脱皮

——そもそも日本語教師になろうと決め  
たのはいつごろですか。

一九八〇年代半ば、子育てが一段落し  
たころ、社会に出て働きたい、出来れば  
カウンセリングの仕事がしたいと猛烈に  
思って、上智大学や心理学研究所に通っ  
ていろんな勉強をしていたころですね。

たまたまアイルランド出身の教授が講義  
中に「私の国の言葉は世界一美しい。そ  
の証拠がこれです」と言って、アイルラ  
ンド詩人たちの作品を朗々と読み上げた  
のです。それを聞きながら、私はこのよ  
うに日本語を外国人に誇れるだろうかと、  
日本語がわかっていられるだろうかと思  
って、勉強し直すことにしたのです。

——自分で日本語を勉強することと外国  
人に日本語を教えることとの間をつなぐ  
ものがありますか。

そう言えば、私が大学生時代、留学し  
た従兄がドイツ人の女性と結婚して帰国  
し、しばらくわが家の近くに住んでいま  
した。そのとき、彼女がカルチャー・ギ  
ャップで悩まないよう、私が週に何回か  
会って英語で話し相手をし、日本語の初  
歩を教えていました。その体験で、言葉  
を教えることの大切さと面白さを覚えて

自身も大いに学ぶべきことです。

このOPIテープ録音はもちろん、教  
師を養成する上でも教員の能力評価にも  
使えます。そこで今、仲間たちと一緒に  
に、テープを素材にしながら、どうい  
う指導方法がいいのかを研究しているこ  
ろです。

——今、嶋田さんの学校では学生はどこ  
からの留学生、就学生がそれぞれどれく  
らいいますか。

現在はほぼ四〇〇人で、内訳は韓国が  
七〇%、続いて台湾、あとは中国、香  
港、タイ、スリランカなど全部で一五カ  
国から来ています。

——外国人に日本語を教える場合、でき  
るだけその人たちの母語、歴史、文化を  
理解し、それと比較しながら日本語、日  
本文化を教えた方がいいとなると、一五  
カ国の人たちに対しては一五通りの日本  
語教育法があるべきだと思いますか。

私も理想的にはそう思います。でも現  
実には、そこまでの教育法ができていな  
い。その前の段階で、外国人に一般的に  
通用する効果的な日本語教育法がどこま  
で可能か、いろんなやり方を模索してい  
る状態です。そこで私たち日本語学校関  
係者の中でも、日本語の発音、文法、文  
章作成などについて優れた指導法、効果  
的な指導法を開発しようとして共同研究して

いて、もっとちゃんと教えられるように  
なりたいと思っていたことはたしかです。

——一九八〇年代半ばと言えば、中曽根  
内閣が「留学生十万人計画」を打ち出し  
て、留学生が急増する時期に当たります  
ね。

当時私は民間の日本語教師短期養成講  
座に通って、欧米人に英語交じりで日本  
語を教えていました。一九八八年に始ま  
った第一回日本語教育能力検定試験を受  
け合格はしましたが、自分に基礎力がな  
いことはよく分かっていました。それ  
で、必死に勉強しながら、幾つかの日本  
語学校で非常勤講師として仕事をしてい  
ました。

——そこへ九〇年秋、イーストウエスト日  
本語学校から声がかかり、非常勤講師で  
教え始めたところ、翌九一年四月には  
「教務主任をやってくれ」と言われ、そ  
れ以来、こですつと教えています。

——家庭の事情で中断するとか、病気で  
休むとかもなかったのですか。

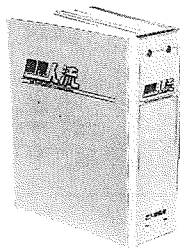
この二〇年間、朝から夜遅くまで働き  
続けていますが、学校は無遅刻無欠勤。  
体が丈夫なのが何よりの取柄で、病気で  
寝込んだことも一度もありません。最近  
は学会の仕事やワークショップなどで、  
土日もない状態です。

——家族の反対もなかったのですか。

息子三人が中学生になったとき、家族  
会議を開きました。「お母さんはこれか  
ら社会に出て勉強しながら働きたい。ど  
う思うか」と聞いたら、子供たちが「実  
は、僕たちもカギっ子になってみたかつ  
た」と大歓迎。夫も積極的に賛成してく  
れました。

——それ以来、国内や国外の研修旅行に出  
かけたり、韓国にはもう数えきれない程  
行っていますし、中国や東南アジアにも  
出張したりと飛び回っています。何と  
か認めてくれていきます。夫も今、定年退  
職後、東大の大学院で認知言語学を学ん  
でいて、未知の分野の勉強をすることに  
喜びを見出しています。一生物学続ける  
姿は本当に素晴らしいと思います。

『国際人流』整理・保存に便利な  
専用バイナリーをお求め下さい！



- 本誌一年分が収納できます
- 堅牢な作り、色は気品ある  
シルバーです
- 定価六〇〇円送料四〇〇円
- 申し込み・問い合わせ  
（輸入管協会）(三三三)二〇二一

### 日本語学校の地位向上を

——大学を卒業した時には就職したのでしよう。

一九六九年卒で、当時の大卒女性はいざいお茶くみの仕事しかない。それが嫌で、外資系なら男女平等に働けると外資系銀行に入ったけれど、一年後には結婚して退職しました。翌年には長男が、その翌年には双子の二男、三男ができて、そのまま主婦業のプロになろう」と、家事をいかに合理的、効率的にこなすか、時間を節約するかを考えて、浮いた時間でいろんな勉強をしていました。そうした合理的実務処理、時間管理が今の仕事にも十分生きています。

——日本語学校の教師の圧倒的多数は女性ですね。男性には向きませんか。

そんなことはないです。ただ、日本語学校は教師の待遇は決して良くはない。ですから家庭を持ち、一家の主として安定した収入を確保しようと思つたら、なかなか日本語学校の教師を続けるのは大変です。それに世間的な評価も今はまだ日本語学校教師より大学教授の方が高い。そこで意欲のある人の間では日本語

学校で働きながら大学院に行き、修士号を取得したら大学に就職口を求めるケースがしばしばあります。つまり日本語学校が大学教員へのステップになっている面があることは否めません。それを何とか変えたいと私は思っています。

——嶋田さんの学校でもせっかく養成した教師が大学に行くケースが多いですか。

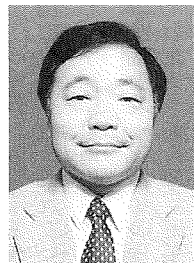
率直なところ、多いですね。ある面、仕方がないと思っっています。引き留めるわけにもいきませんし、むしろそれを日本語学校と大学とが人のネットワークでもつながらる形で、プラスに持っていきたいと考えています。

——嶋田さん自身も修士号を持っているし、大学から誘いがあるでしょう。

いくつかありましたが、すべて断ってきました。私は何より日本語学校の現場が好きだし、日本語学校より大学の方が格が上で優れている、というイメージを壊したいからです。日本語学校も大学と対等の立場で教育、研究、指導ができるのだということを証明したいのです。現に今、日本語学校で優れた指導者たちがたくさん出てきています。そうした人たちが大学教授たちと対等に議論し、共同研究に取り組むようになってきているの

### ▼インタビューアー 勝又美智雄氏略歴▼

一九四七年、大分県別府市生まれ。七二年、東京外国語大学英米語科卒。日本経済新聞社で社会部記者一四年、担当した長期連載企画「サラリーマン」が八四年に菊地寛賞を受賞。八一年、米スタンフォード大ジャーナリズム研究員プログラム修了。八七年から九〇年までロサンゼルス支局長。その後、国際第二部次長、営業推進本部国際担当部長、編集委員などを経て二〇〇四年三月に早期退職し、同年四月から秋田に創設された国際教養大学教授。



です。私自身も、そうした人たちと一緒に、日本語学校の地位向上に貢献したいと考えています。

## 平成一八年末現在における 外国人登録者統計

### 1 総数及び推移

——外国人登録者数は、約二〇八万五〇〇〇人となり、過去最高を更新。

我が国総人口の一・六三パーセントを占める。

平成一八年末現在における外国人登録者数は二〇八万四九一九人で、二〇〇万人を突破した平成一七年末に引き続き過去最高記録を更新している。この数は、平成一七年末現在に比べ七万三三六四人(三・六パーセント)の増加、一〇年前(平成八年末)に比べると六六万九七八三人(四七・三パーセント)の増加で、一〇年間で外国人登録者数は約一・五倍になった。外国人登録者の我が国総人口一億二七七七万人(総務省統計局の「平成一八年一〇月一日現在推計人口」によ

### 2 国籍(出身地)別

——外国人登録者の国籍(出身地)数は一八八。

韓国・朝鮮の構成比が二八・七パーセントで最大であるが、減少傾向。中国は引き続き増加。

外国人登録者の国籍(出身地)の数は一八八(無国籍を除く)であり、韓国・朝鮮が全体の二八・七パーセントを占め、以下、中国、ブラジル、フィリピン、ペルー、米国が続いている。

(1) 韓国・朝鮮は、特別永住者数の減少を受けて、近年、毎年減少を続けており、五九万八二一九人となった。

### 法務省入国管理局

(2) 中国は、昭和五〇年代から増加を続けており、平成一八年末は同一七年末に比べて、七・九パーセント増加している。

(3) ブラジルは、平成元年末から同三年末に大幅に増加し、以降平成一〇年末を除き毎年増加を続けている。

(4) フィリピンは、平成一七年末に減少に転じたが、平成一八年末は同一七年末に比べて三・三パーセント増加している。

(5) ペルーは、平成元年末から同三年末に大幅に増加し、以降毎年増加を続けている。

### 3 都道府県別

——上位一〇都府県では岐阜県、愛知県などが増加。